

# 地域密着型金融の取り組み

## I. 地域密着型金融の取り組み方針

当行は静岡県を基盤とする地域金融機関であり、地域密着型金融への取り組みは恒久的な課題と位置づけております。

平成28年4月よりスタートした第26次中期経営計画「ADVANCE AS ONE～地域・お客さまとともに、持続的成長を実現するために～」では、目指す姿を『存在意義の発揮』とし、基本方針である「金融仲介機能の向上」において、「カスタマーイン戦略による法人営業強化」「マーケットイン戦略による個人営業強化」「地方創生への積極的な参画」等を重点施策として掲げております。

お客さまのライフステージに合わせた経営ニーズを幅広く捉え、より強い信頼関係を築き、真に役立つ商品・サービスの提供を通じて、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

## ■ 地方創生への取り組み

地方創生を推進する体制として「地方創生デスク」を設置するとともに、地区駐在執行役員と全営業店長を地方創生推進担当者として配置し、各地域の戦略策定会議等への積極的な参画を通じ、静岡県の地方創生に向け清水銀行グループが一体となって取り組んでまいります。

具体的には、静岡県の「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議」における、5圏域の「地域会議」のうち、東部、中部、志太榛原・中東遠、西部の4圏域の会議に頭取・各地区駐在執行役員が構成員として出席しております。平成30年3月現在、静岡県内13市と地方創生に係る連携協定等を締結し、10市町の総合戦略策定に向けた会議等に参加しております。

### ● 地方創生私募債（愛称：しずおかの未来）の取り扱い拡充について

地方創生私募債（愛称：しずおかの未来）の取り扱いを通じ、地域の子どもの成長を応援しています。地方創生私募債は、当行が私募債の発行企業から受け取る手数料の一部で書籍やスポーツ用品等の教育関連物品を購入し、発行企業の希望を参考に静岡県内の学校に寄贈するものです。取り扱い開始から、多くの企業にご賛同いただき、平成30年3月末迄に、60件・4,790百万円を引受けました。

### ● 「清水みなとまちづくり公民連携協議会」への参加

当行は、平成30年4月1日に発足した静岡県、静岡市、地元企業で構成される「清水みなとまちづくり公民連携協議会」へ参加しています。同協議会は、清水港及び周辺において、“みなと”と“まち”を一つの資産として最大限に活かす「みなとまちづくり」を公民連携により推進することを目的とし、清水港及び周辺地域全体のランドデザインを描いていきます。今後も、清水に本店を置く金融機関として、港を中心としたまちづくりを行政機関と連携して進めてまいります。

### ● 市町との連携協定等の締結

| 市町名  | 連携内容          |
|------|---------------|
| 三島市  | パートナーシップ協定    |
| 静岡市  | 包括連携協定        |
| 磐田市  | 包括連携協定        |
| 掛川市  | 包括連携協定        |
| 島田市  | 包括連携協定        |
| 藤枝市  | 包括連携協定        |
| 沼津市  | パートナーシップ協定    |
| 伊東市  | 創業支援に係る相互協力合意 |
| 富士宮市 | 包括連携協定        |
| 富士市  | 包括連携協定        |
| 袋井市  | 包括連携協定        |
| 菊川市  | 包括連携協定        |
| 裾野市  | パートナーシップ協定    |

### ● 市町における総合戦略策定に向けた会議等への参画

| 市町名 | 会議体                          |
|-----|------------------------------|
| 函南町 | 地方版総合戦略策定に伴う産業振興・基盤整備PD会議    |
| 富士市 | 富士市まち・ひと・しごと創生懇話会            |
| 静岡市 | 静岡市創生会議（静岡県創生県民会議中部地域会議）     |
| 藤枝市 | 藤枝市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会        |
| 島田市 | 島田市まち・ひと・しごと創生金融機関懇話会        |
| 吉田町 | 吉田町まち・ひと・しごと創生地域金融機関懇話会      |
| 菊川市 | 菊川市地方版総合戦略金融機関懇話会            |
| 掛川市 | 掛川市地域プラットフォーム幹事会             |
| 磐田市 | 磐田市まち・ひと・しごと創生金融機関懇話会        |
| 袋井市 | 輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生金融機関支店長会議 |

## Ⅱ. 地域密着型金融への取り組み状況

### 1. 創業・新規事業を目指すお客さまへの支援

#### ●創業・新規事業支援

創業・新規事業に関わる事業計画の策定や公的助成制度・支援融資の活用について、積極的にサポートを行った結果、平成29年度は230件の創業・新規事業支援を実施しました。

これまで、株式会社日本政策金融公庫の静岡県内3支店との「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」の締結や「しみず創業支援資金」の取り扱いにより、創業・新規事業者の支援を継続的に進めております。創業・新規事業支援は、地方創生における重要な取り組みであり、今後も一層加速させてまいります。

#### ●認定支援機関としての新事業計画策定支援

静岡県産業振興財団等の各団体と連携し、経営革新計画・新連携計画、経営力向上計画の策定をサポートしてまいりました。これら公的支援制度を通じて、当行は認定支援機関として計画策定から資金繰りまで幅広くサポートした結果、平成29年度は95件の新事業の計画策定支援に取り組みました。

### 2. 成長段階における更なる飛躍が見込まれるお客さまへの支援

#### ●海外展開支援の強化

平成29年7月3日、タイ王国バンコクに当行初の海外拠点となる「バンコク駐在員事務所」を開設しました。平成29年9月7日には、地域を越えて海外展開する企業の商機拡大や両県の文化の発信を目的として株式会社北都銀行（秋田県）と「海外業務提携に係る協定書」を締結しました。

また、平成30年2月15日には、お客さまの海外ネットワーク拡充および資金供給手段の多様化に向けて、タイ王国最大手の民間商業銀行であるバンコック銀行と「ビジネス協力協定」を締結しました。バンコック銀行との提携により、タイに進出している企業に対するスタンバイ／Cによる金融支援など、海外展開支援の充実を図ってまいります。



バンコック銀行との業務提携

#### バンコク駐在員事務所の概要

|             |                                                                                        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称         | 株式会社清水銀行 バンコク駐在員事務所<br>The Shimizu Bank, Ltd. Bangkok Representative Office            |
| 所 在 地       | Level 8, 1 Silom Road, Bangrak, Bangkok 10500 Thailand                                 |
| 開 設 日       | 平成29年7月3日                                                                              |
| 人 員         | 2名（うち派遣行員1名、現地スタッフ1名）                                                                  |
| 主 な 業 務 内 容 | (1) 国内お取引先の海外進出及び貿易取引のサポート<br>(2) 経済動向・市場動向・投資環境などの情報収集及び情報発信<br>(3) 現地金融機関等の提携先との関係強化 |



### ●成長分野への融資・資金供給手段の多様化

当行は「医療・介護」「事業承継・M&A」「公的制度」等の分野に対し、ソリューション支援担当者を本部に配置し、営業店の支援体制を強化することで、お客さまのニーズに迅速に対応する態勢を構築しております。

第26次中期経営計画で掲げている「カスタマーイン戦略による法人営業強化」を実現するため、「しみず地方創生ローン」「しみずビジネスローン」「地方創生私募債」の取り扱いを開始し、お客さまへの資金供給手段の多様化を図っております。

また従来から取り組んできた動産・債権譲渡担保（ABL）を活用した融資については、平成30年3月末時点で131件、151億80百万円となりました。

### ●ビジネスマッチング

お客さまからのビジネスマッチングに関するご依頼や行員が営業活動により入手した情報などを行内情報システムに集約し、最適なビジネスマッチングのご提案ができるようコーディネート力の向上に取り組んでおります。

これらの取り組みにより多くのビジネスマッチングが実現した結果、平成29年度は1,213件が成約となりました。

### ●「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み状況

当行は、経営者保証に関するガイドラインの趣旨を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組んでおります。

| 項 目                                        | 平成29年度実績 |
|--------------------------------------------|----------|
| 新規に無担保で融資した件数 (A)                          | 1,733件   |
| 経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数 (B)           | 2件       |
| 保証契約を変更した件数                                | 0件       |
| 保証契約を解除した件数                                | 248件     |
| ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数                      | 0件       |
| 新規融資件数 (C)                                 | 10,446件  |
| 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合 [(A) + (B)] / (C) | 16.61%   |

## 3. 経営改善・事業再生・事業承継等における支援

### ●経営改善支援

経営改善計画策定支援や定期的なモニタリングの実施により、お客さまの経営課題解決に向けた提案・支援を行ってまいりました。また、経営改善計画策定などの行内研修を実施し、積極的に行員の経営支援ノウハウの共有や企業に対する目利き力の向上に取り組んでまいりました。

経営改善支援の取り組み状況（平成30年3月31日現在）

|                             | (単位:先) |
|-----------------------------|--------|
| 平成29年度期初のご融資先数（正常先除く） ①     | 4,324  |
| うち経営改善支援取り組み先数（正常先除く） ②     | 119    |
| うち経営改善計画策定先数（正常先除く） ③       | 117    |
| うち平成29年度中のランクアップ先数（正常先除く） ④ | 1      |

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 経営改善支援取り組み率 ②÷① | 2.8%  |
| 経営改善計画策定率 ③÷②   | 98.3% |
| ランクアップ率 ④÷②     | 0.8%  |

注1:小数点第2位を四捨五入しております。

注2:ランクアップ先は平成29年3月末の債務者区分が平成30年3月末時点で上方遷移した先。

### ●外部機関との連携

経営改善・事業再生・事業承継等の支援については、外部機関との積極的な連携により、効果的かつスピーディな対応に努めてまいりました。

#### ・主な外部機関

「静岡県中小企業再生支援協議会」「静岡県経営改善支援センター」「しずおか中小企業支援ネットワーク」  
「未来事業」「静岡県事業引継ぎ支援センター」「日本M&Aセンター」「みらいコンサルティング」  
「静岡県中小企業診断士協会」「名南経営コンサルティング」「地域経済活性化支援機構 (REVIC)」

### ●事業承継・M&A支援

事業承継を検討されているお客さまに向けては、本部担当者と営業店が連携し、個別相談の実施や外部機関と連携したM&A等の支援策を提供することにより、お客さまをサポートしてまいりました。



## 4. 地域活性化に向けた取り組み

### ● 袖師支店・庵原支店・辻支店オープン

平成30年3月12日、袖師支店の新築移転とともに、庵原支店および辻支店をランチ・イン・ランチ（店舗内店舗）形式で、新しい袖師支店内に移転オープンしました。

新店舗では、「地域・お客さまとともに、持続的に成長できる店舗」をコンセプトとし、お客さまに快適な空間を提供し、利便性の向上を図っています。25台収容可能な駐車場に加え、土日祝日もご利用可能な全自動貸金庫を備えました。また、当行初となる案内係（ロビーコンシェルジュ）の配置やコンサルティングブースの設置により、より一層のサービスの充実を図っております。



袖師支店・庵原支店・辻支店オープニングセレモニー

### ● 産学官金連携マッチングセミナーの開催

平成30年1月30日、2回目の取り組みとなる静岡県立大学との共催による産学官金連携マッチングセミナーを開催し、当日は63名にご参加いただきました。セミナーでは当行担当者より、静岡県立大学が地域の中小企業と行う研究開発等の取り組みについて、企業の具体的な取り組み事例も交えて説明を行いました。また、参加者が相互に情報交換する時間を設け、マッチング機会の創出を行いました。



産学官金連携マッチングセミナー

## 5. CSRへの取り組み

### ● 当行所有林の「SGEC」森林認証

当行は、創立当初より興津川上流の水源地域に100ヘクタール超の山林を所有しており、ESGの取り組みとして森林保全活動を行ってまいりました。平成30年2月7日に、静岡市清水区清地の所有山林についてSGEC（緑の循環認証会議）の森林認証を取得し、これに伴い平成30年4月6日に認証取得団体である「オクシズ森林認証協議会」により、森林認証の授与式が開催されました。

創立90周年事業として新たな森林経営計画を策定し、認証林の面積拡大を図るとともに、100周年に向けて継続的に山林整備事業に取り組んでまいります。



森林認証授与式

### ● 清水港客船誘致委員会へのテント寄贈

創立90周年事業として、平成30年4月26日、清水港客船誘致委員会へ7張のデザインテントを寄贈し、清水港日の出埠頭で寄贈式を開催しました。寄贈したテントは当行の預金通帳デザインも手掛ける柳原良平氏の作品をモチーフにしており、クルーズ船の寄航時にマルシェと呼ばれる飲食店やお土産品の店舗などにご利用いただく予定です。

清水港は平成29年7月に国際クルーズ拠点に指定され、地域活性化及び観光産業の発展に向けて期待が高まっています。今後も清水に本店を置く金融機関として、地域の発展に向けた取り組みを支援してまいります。



デザインテント

### ● 清水銀行杯少年少女サッカー大会への協賛

本大会への協賛を始めとするスポーツ事業の振興を通じて、地域の発展や青少年育成に取り組んでいます。清水銀行杯は小中学生を中心に、幼児から中学生までを対象としたサッカー大会であり、平成30年の開催をもって第50回を迎える歴史ある大会です。当行はこれからも日本の少年サッカー発祥の地である、サッカーのまち清水を応援してまいります。



清水銀行杯少年少女サッカー大会

## Ⅲ. 平成29年度実績と平成30年度数値目標

| 項 目                                  | 平成29年度 |        |      | 平成30年度目標 |
|--------------------------------------|--------|--------|------|----------|
|                                      | 目標     | 実績     | 達成率  |          |
| 創業・新規事業支援融資実行件数                      | 180件   | 230件   | 127% | 200件     |
| ビジネスマッチング件数(平成29年度は成約件数、平成30年度は商談件数) | 1,200件 | 1,213件 | 101% | 1,200件   |
| 海外進出支援相談受付件数                         | 100件   | 102件   | 102% | 100件     |
| 認定支援機関等外部専門家・外部機関との連携件数              | 50件    | 55件    | 110% | 50件      |